

令和7年

第4回市議会定例会 意見書案第1号

クマ被害対策の強化・拡充を求める意見書

上記の意見書案を函館市議会会議規則第13条第1項の規定により提出します。

令和7年12月8日提出

函館市議会議長 金澤浩幸様

提出者	函館市議会議員	富山悦子
同	同	市戸ゆたか
同	同	紺谷克孝
同	同	板倉一幸
同	同	道畑克雄
同	同	斉藤佐知子
同	同	福島恭二
同	同	野沢友志
同	同	高橋千晶
同	同	見付宗弥

クマ被害対策の強化・拡充を求める意見書

近年、全国各地でクマによる人身被害が急増しており、令和7年度は死亡者数において既に過去最多となっています。こうした人的被害に加え、出没により小売店が短縮営業を余儀なくされるなど、地域経済への影響も深刻化しています。特に市街地への出没が増加し、従来の里山構造が失われ、奥山と住宅地の緩衝地帯が縮小していることが根本原因と指摘されています。

函館市においても今年度（11月17日現在）はすでに134件の目撃が確認されており、いつ市街地に出没してもおかしくない状況となっています。

政府は法改正により「緊急銃猟」制度を導入し、「クマ被害対策パッケージ」を決定しましたが、現場対応にとどまらず、科学的・制度的・社会的な観点からさらなる抜本的な対策が求められています。クマ被害はもはや地方の問題ではなく、国全体の構造的課題です。

よって、政府並びに国会は、人命等の被害防止と生態系保全を両立させるため、国主導による科学的・制度的なクマ被害対策の強化・拡充を行うことを強く要望します。

記

- 1 緊急対応体制の強化と制度整備
 - ・「緊急銃猟」制度の安全な運用及び運用に関する補償制度の充実化並びに人的被害が出た場合のハンターの免責の明確化
 - ・緊急捕獲活動支援事業、クマ特別対策の拡充等による捕獲活動経費に対する支援の増額
- 2 出没防止策の徹底
 - ・電気柵設置などの物理的対策やクマの侵入を防止する河川敷、用水路等の刈り払い等への支援
 - ・緩衝地帯（現代版里山）の再構築と維持のための支援
- 3 科学的管理と生態系保全の両立
 - ・クマの生息数・分布・繁殖状況の全国調査・研究促進に向け、I C

T等の新技術の実証・導入及び予算措置

- ・頭数管理に基づく適切な駆除と保護のバランス確保

4 予算の確保

- ・上記の各事項の施策を着実に実施するため、法の見直しの検討も含め、予算の大幅な増額等必要な措置の実施

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

令和7年12月 日

函館市議会議長 金 澤 浩 幸